

感染拡大における宮古島市からの旧盆に向けたお願い

宮古島市は先週から二桁台の新型コロナの陽性者がでており、人口10万人あたりの新規陽性者数は231.40人となり、全国ワースト1の沖縄県の状況に迫る勢いです。

観光客の来島状況や、来週の旧盆での人との交流が活発になると、さらなる感染拡大は避けられません。本日は県立宮古病院と合同で会見を行い、市民の皆様や観光客の皆様にあらためて旧盆の過ごし方、緊急事態宣言中の過ごし方についてお願いをします。

- 1 旧盆における帰省はできる限り控えて頂き、親族一同での大勢での飲食も控えてください。
- 2 ワクチン接種を済ませていても、他人と接触するときはマスクの着用、密にならない、換気を徹底してください。
- 3 最近の新規陽性者の傾向として、20代～30代の若年層が多く、職業別では飲食業、サービス業、建設業が多くなっています。そこから家庭内感染がひろがり10才未満、10代の学生の感染が増えています。
若い年代の方で特に小さなお子さんや妊婦さんがいる家庭の方は、外出や集団での飲食を控え、ワクチン接種への協力を強く、お願いします。
- 4 島外の方の感染やその接触者の感染も確認されています。観光を目的とした来島は控えてください。現在市内医療機関は、入院患者の制限や、診療制限が行われています。また陽性者の多くは自宅療養をしています。どうか宮古島市民への安定した医療提供のため、来島自粛の協力を心からお願いします。
- 5 症状に不安のある市民の方は、病院受診の前に市電話相談室または24時間対応の県コールセンターにお電話下さい。

また、濃厚接触者は必ず保健所の指示に従い、医療機関を指定日に受診して下さい。疫学調査にご協力頂き、市民への感染拡大防止にご協力下さい。

感染者の急拡大により、不安を抱えている市民の皆様や、事業所の皆様も多くいらっしゃると思います。これ以上の感染拡大を防ぐため、人との交流、密になる行動を避け、マスクの着用、換気の徹底、早めのワクチン接種をお願いします。